

平成 20 年 9 月 2 日

各 位

(社) 日本粉体工業技術協会 ナノ粒子安全性検討委員会
委員長 川島 嘉明

協賛: ナノテクノロジービジネス推進協議会、日本エアロゾル学会、
粉体工学会、化学工学会、日本薬剤学会、日本薬学会、

ナノ粒子テクノロジーの国際動向 –レギュレーションと 安全性– に関するシンポジウム開催のご案内

(社) 日本粉体工業技術協会には、ナノ粒子の物性評価と新機能の創生を目的にした「微粒子ナノテクノロジー分科会」があります。この分科会では、近い将来を見据えナノ粒子の特徴を活かした“ものづくり”を目指しております。ナノ粒子を利用した起業に役立つ情報提供等もしております。

一方、ナノ粒子の人体や環境への影響等の安全性や毒性に関する協会の取り組みは十分とは申せません。このような反省や経緯で「ナノ粒子の安全性検討委員会」が設置されました。本年、本委員会では過去 2 年間の委員会活動を総括し、ナノ粒子のトピックスが異なる 3 つのシンポジウムをシリーズで開催（公開）し、本委員会の将来の展望と役割を明らかにしたいと考えております。

今回のシンポジウムは、ナノ粒子の安全性に関するレギュレーションの最近の動向、的確な把握と実践について宗兼 彰美氏（経済産業省）、篠崎 典良氏（厚生労働省）をお招きして、各々最新の情報をお伺いします。アカデミアからは、ナノ粒子の細胞との相互作用について堤康央先生（大阪大学・薬 教授）、経皮吸収について藤井まき子先生（昭和薬科大学 准教授）にそれぞれ解説していただきます。奮ってのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成 20 年 11 月 18 日（火）13:00～17:00

会 場：東京・虎ノ門パストラル 本館 8 階 しらかば
東京都港区虎ノ門 4-1-1 電話：03-3432-7261

定 員：60 名（先着順）

次 第：13:00～

開 式：ナノ粒子の安全性検討委員会委員長

愛知学院大学薬学部 教授 川島 嘉明 氏

13:05～13:55 **講演 1**：「OECD におけるナノ材料の安全性に関する活動について」

経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 宗兼 彰美 氏

13:55～14:45 **講演 2**：「ナノマテリアル製造・取扱い作業現場における当面のばく露防止のための予防的対応について」の解説と背景及びその後の動向について

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課企画官 篠崎 典良 氏

14:45～15:05 **総合討議 (1)** ナノ粒子の安全性検討委員会 副委員長

(独) 産業技術総合研究所 伊ヶ崎 文和 氏

【休 憩】

15:15～15:55 **講演 3**：「ナノ粒子の細胞との相互作用について」

大阪大学 教授 堤 康央 氏

15:55～16:35 **講演 4**：「経皮吸収について」

昭和薬科大学 准教授 藤井 まき子 氏

16:35～16:55 **総合討議 (2)** ナノ粒子の安全性検討委員会 副委員長

(独) 産業技術総合研究所 伊ヶ崎 文和 氏

～17:00 **閉 会**：

参 加 費：無 料（但し資料代として当日会場で 3,000 円を申し受けます）

申込締切日：平成 20 年 11 月 11 日（火）ただし、定員になり次第、締切ります。

申し込み先：お名前、会社名、所属、連絡先（TEL、FAX、e-mail）を明記して、協会本部
事務局 鈴木優子まで FAX（075-352-8530）またはメール（y-suzuki@appie.or.jp）
にて、お申し込みください。

以上